



【学校教育目標】「かしこく やさしく たくましく」



校報

しおかぜ

大船渡市立越喜来小学校
令和4年度校報 No.7
令和4年7月13日発行

「児童・教師・保護者がともに伸びる越喜来小学校」

文責：遠藤

団結、協力 深まる絆～5年宿泊学習～

6月29日（水）・30日（木）、5年生が陸前高田市広田町に昨年度オープンした野外活動センターで宿泊研修を行いました。宿泊しての学習は初体験となる5年生。集団生活を通して、協力することの大切さや公衆道徳を学んだり、学校を離れ、自然と親しみながら体験活動を行ったりすることで、より大きな心の成長を促すことをねらいとして行いました。

子どもたちは、自分の役目をしっかりと果たし、協力して、活動に取り組むことができたようです。海の荒れ具合が心配されましたが、トレッキング、いかだづくり、キャンプファイヤー、火起こし、野外炊事など、ほぼ予定通り実施することができました。集団の一員であることを常に意識しながら規律ある行動をし、子どもたちは一回り大きく成長して帰校しました。

野外炊事



キャンプファイヤー



手づくりいかだ



火起こし体験



2年ぶりの開催～地区懇談会～

令和元年に開催して以来、新型コロナウイルス感染予防の観点から、地区懇談会の開催を見送ってきました。第6波が収束の兆しを見せ、県内の感染状況も前の週を連続で下回り、岩手県緊急事態宣言解除を受け、6月20日（月）、21日（火）の2日間に渡り、久々に地区懇談会を開催しました。とはいえ、感染症がまだまだ散見される状況でしたので、来賓はお呼びせず、1時間以内の話し合いになるように、短縮しての開催でした。そのため、会自体は学校からの説明に多くの時間を割いていただき、そんな中でも地域の実情や子どもたちの地域での様子を知るとても良い機会となりました。各地区ともお忙しい中、多数ご参加いただき大変ありがとうございました。解決しなければならない課題等につきましては、現在関係機関と連絡を取り、改善を試みているところです。





佐々木さん自己ベスト更新! ~小学生陸上交流大会岩手県予選~

7月10日(日)盛岡市にある岩手県営運動公園陸上競技場で全国大会へのたった1枚の切符をかけ、県内の地区予選を勝ち抜いた小学生アスリートたちの熱戦が繰り広げられました。本校からも気仙地区予選を1位で通過した さん(5年)がコンバインドA(80メートルハードルと走り高跳びの2種目を行い、その記録が得点化される競技)に出場しました。まず80メートルハードルが行われ、4組目に登場した



は17秒61をマークし、気仙地区予選で記録した17秒7を更新。2種目めの走り高跳びは自己ベストが95cmの佐々木さんにとっては厳しい高さの105cmからの競技開始。果敢に挑戦するも残念ながらクリアできず、記録なしとなってしまいました。それでも、まだ5年生の佐々木さん。多くの上級生と競技を通じて交流できたことは素晴らしい経験となったはずですよ。

3, 4年生が参加 いわて復興スクール

昨年度は三陸鉄道を利用して釜石市を訪れた3, 4年生でしたが、今年は陸前高田市の気仙大工伝承館と津波伝承館そして5年生も宿泊した県立野外活動センターに見学学習に行ってきました。あいにくの雨で気仙大工伝承館にあるローラー滑り台は体験できませんでしたが、神戸市から分灯された「3.11希望の灯り」や津波伝承館に展示されている消防自動車、シアターなどを通じて、震災のことをさらに深く学ぶ機会となったようです。



消防車がへこんだり、きずがついていたりして、それほど津波が強いことが分かった。

家族と話し合って、津波が来ても大丈夫のように、道具や逃げる場所を決めておきたい。



病は口から~歯は健康の道しるべ~

6月21日(火)学校歯科医の小松先生をお招きし、4年生を対象にはみがき教室を行いました。本校は小松先生のご指導もあり、気仙地区の中ではむし歯の保有率は低いほうです。4年生の子どもたちは、小松先生からの映像を交えたお話のあと、染め出し薬でピンク色になった歯をじっくり観察。自分の苦手な歯みがきの場所や磨き残しの多い場所を丁寧にブラッシングしていました。

